

終末の工夫



終末で大切なことは何ですか？

自分との関わりで考え、議論の中で出た多面的・多角的な考えを基に、**納得解を導き出させる**ことが大切です。

授業を通して**考えたことや学んだことをまとめ、今後の発展につなげ**させます。



児童生徒に、導入で持った問題意識がどのように深まったかを振り返らせます。価値を押し付けたり、決意表明をさせたりするような終末にならないようにし、**自己（人間として）の生き方についての考えを深め**させます。**終末のイメージ**を参考にしてください。

終末のイメージ

	授業の流れ「中学校 C-(13) 勤労」
導入	○主題に関わる問題意識を持つ。
展開	○自分との関わりで道徳的価値を理解する。 ○物事を多面的・多角的に考える。 ○自分の問題として受け止め深く自己を見詰める。
終末	○自分の持っていた価値観が、授業を通してどのように深まり、自分にとって大切なものは何か考える。児童生徒がそれぞれに納得解を導き出す。 生徒A：働く喜びを大切にしながら、 自分のやりたいことを第一に考えて働きたい。 生徒B：好きな仕事をする ことばかり 考えていた。これからは、 家族や地域に貢献 することも考えたい。 生徒C：みんなの意見や主人公の生き方はとても参考になったが、やっぱり 一生懸命働くことを大切にしたい。

振り返りの視点

感想を書かせる時には
「何を感じたか」
「何を考えたか」
「何を学んだか」
「何が大切だと思ったか」
「これからの生かしたいことは何か」
等の視点を与えるようにする。

ねらいを意識した振り返りをさせたい場合の発問例

道徳的判断力

「あなたは**同じ状況に置かれたとき、どのようなことを大切にしたい**ですか」今日の授業を基に考えてみましょう。

道徳的心情

「あなたは**どのような気持ち**を大切にしていきたいですか」今日の授業で学んだことを含め、感想を書きましょう。

道徳的実践意欲と態度

今日の授業で学んだことを、「**これからの生活にどのように生かしていきたい**ですか」感想も含めて書きましょう。

終末五箇条

一 振り返る時間の確保を

・授業を振り返り一人一人が納得解を出せるように。

一 思考を深める工夫を

・説話や書く活動で思考を深め、考えを整理させる。

一 学びの共有を

・学んだことを互いに共有し、高め合わせる。

一 関連を意識して

・次の学習や諸活動につながる投げ掛けを行う。

一 学級経営を大切に

・自信を持って生き方につなげさせるために。